

ふるさと東総

平成18年3月1日発行 No.5

皆さんに知って欲しい
東総のしごと

- 東総地区広域市町村圏事務組合管理者あいさつ 2
- 銚子連絡道路整備促進地区大会 2
- 中学生海外派遣研修事業 3
- ごみ処理広域化推進事業 4
- お知らせ 4



白鳥が飛来（旭市秋田地先：平成18年1月19日撮影）

編集・発行／東総地区広域市町村圏事務組合
〒289-2521 千葉県旭市ハの612-1 東総振興センター内
電話：0479-62-3305 FAX：0479-62-3302



はじめに ～広域行政の推進～

三位一体の改革、地方分権の推進に伴い、全国で市町村合併が進んでいます。この東総地区も例外ではなく、昨年は旭市、海上町、飯岡町、干潟町が、この1月には八日市場市と野栄町が、そして3月には光町と横芝町が合併することとなったため、2006年度からの本圏域は銚子市、旭市、匝瑳市の3市になります。昨年は3市5町であったことを考えると、様々な面で効率化が進んでいると感じますが、依然として、交付税、補助金の削減など、地方の財政状況は厳しさを増しております。そのため住民サービスの向上と行政事務の効率化を、それぞれ自立した財政の中で

実現していくためには、更なる地域間の連携と個々の実情に応じた広域行政の推進が必要になっています。

現在、当組合では、広域行政のひとつとして「ごみ処理広域化」を推進していますが、こういった複数施設、組織の統合は、合理化・効率化を目指す上で非常に重要であります。

新たな構成となる3市と協力し、広域行政を推進するとともに、農水産業・観光・医療福祉等この地域の持つ素晴らしい資質を活かし、圏域住民が安心して暮らせるまちづくり“ふるさと東総”の実現に取り組んでいき、本圏域の更なる発展を目指していきます。

東総地区広域市町村圏事務組合管理者 **伊藤 忠良**

銚子連絡道路の早期整備促進

地区大会

平成17年5月16日（月）、八日市場ドームで第8回銚子連絡道路整備促進地区大会が開催されました。

国、県、沿線市町村関係者等約1,200名が出席のなか、大会代表としてあいさつに立った山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会会長（旭市長）は、「観光、農業、漁業そして旭中央病院を中心とした医療等、この地域の重要な要素を活かすためにもしっかりとした道路が必要である」と道路整備の重要性を訴えました。



要望活動

第8回銚子連絡道路整備促進地区大会での決議を踏まえ、4市12町1村の首長・議長で構成する山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会は、平成17年6月17日、地元選出議員である林幹雄衆議院議員とともに国土交通省、財務省を訪問し、銚子連絡道路の早期完成を願う要望活動を行いました。

要望の中で会長（旭市長）は、現状の広域道路網は非常にぜい弱であること、銚子連絡道路の完成により県都1時間構想が実現し、産業・交流・観光・生活の面で様々な波及効果が期待できることを挙げ、「地域発展のため銚子連絡道路の一日も早い完成を目指して欲しい」と北側国土交通大臣をはじめ国土交通副大臣、財務省・国土交通省の要職の方々へ要望書を手渡しました。

また期成同盟会は他にも地元選出国會議員、国土交通省関東地方整備局等を訪問し、銚子連絡道路の必要性及び早期整備について要望しました。



平成17年度東総地区中学生海外派遣研修事業



マーライオンタワー（シンガポール：セントーサ島）

平成17年7月26日から30日（4泊5日）の日程で、圏域内中学生31名により『東総地区中学生海外派遣研修（シンガポール・マレーシア）』を実施しました。研修期間中は、班別自主研修、IJコンベント中学校（マレーシア：ジョホールバル）との交流会を行い、水の再利用浄化施設やセントーサ島などを見学しました。

班別自主研修では、自分達の足で街中を歩くことにより、シンガポールという国の文化・習慣などを体感し、また交流会では現地の伝統的な遊びや民族楽器の演奏などとおして、英語でのコミュニケーションや友好を深めることができました。



研修報告では「英語が通じたうれしさ」や「英語の重要性」、「外国の文化を体感できた喜び」などが多く寄せられました。



外国の文化、歴史、産業等を学び、直接体験することは、国際語である英語の重要性を実感し、また国際社会への理解を深め、将来のグローバル社会、経済に対応できる人材の糧となってくれるものと考えています。

今後もこの事業に対してのご理解、ご協力をお願いします。

ごみ処理広域化推進事業

現在、東総地域内から発生したごみは、銚子市清掃センター（銚子市）、旭市クリーンセンター（旭市）、松山清掃工場（匝瑳市）の3施設で、それぞれ処理されております。

施設の更新にあたっては、3市で個々にごみ処理を行うよりも1ヶ所の施設でごみ処理を行う方が様々なメリットがあることから、組合では、ごみ処理広域化推進事業に取り組んでいます。

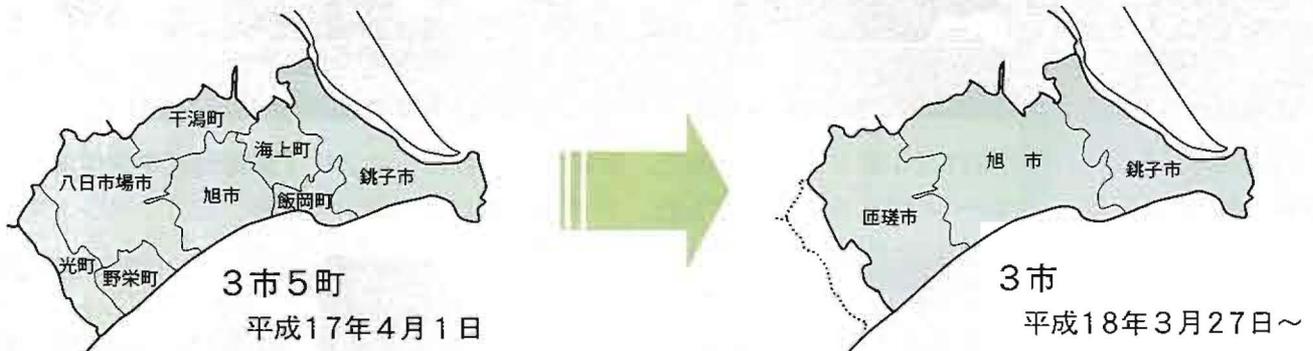
《ごみ処理を広域化することの主なメリット》

- ◎施設の集約化により、効率的にごみ処理経費を削減できる。
- ◎ごみ焼却の際の熱エネルギーを有効利用して温熱供給や売電ができる。
- ◎リサイクルセンターなどの施設の充実で、現在よりも更に資源化が可能になる。
- ◎施設建設にかかる経費が、国の交付金対象となる。

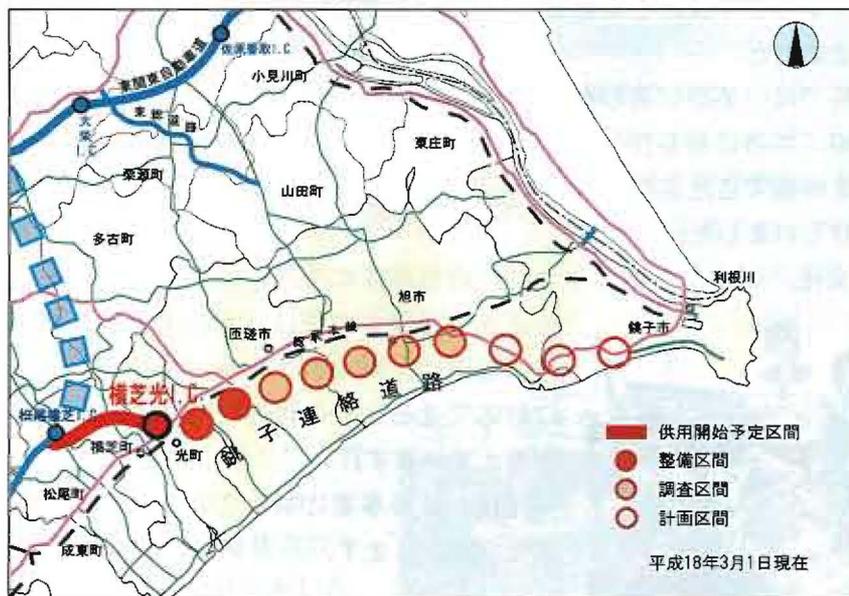
お知らせ

・東総地区広域市町村圏は銚子市、旭市、匝瑳市の3市になります。

平成18年3月27日の横芝町・光町の合併による横芝光町の誕生に伴い、光町は東総地区から山武地区へ移り、東総地区広域市町村圏は3市の構成となります。



・銚子連絡道路「松尾町～光町間」が開通…平成18年3月25日午後3時から



平成18年3月25日から、銚子連絡道路の「松尾町～光町間」が開通します。

今回の供用開始区間は約6.1kmで全体計画約30kmの一部ですが、「県都1時間構想」の実現と、将来の東総地域の根幹となるべく、全線開通に向けて、着実に前進しています。

概要

供用区間	L=6.1km
道路規格	自動車専用道路
	設計速度 80km
	4車線（暫定2車線）